

令和6年度学校だより



三川内中心ひとつに

「全員が毎日楽しく登校できる学校づくり～継続～」

校訓「自主・誠実・健康」

NO.51

令和7年3月14日（金）

文責：校長 大田勝明

とても感動的な卒業式をありがとう！



昨日、多くの保護者や来賓の皆様にご祝福をいただき、3年生は立派に卒業しました。1・2年生の皆さんには、準備から見送りまでそれぞれの役割をきちんと果たしていただいたことに心より感謝いたします。送辞、指揮、伴奏を務めた皆さんは特に緊張したことと思いますが、立派にやり遂げてくれました。また、初の試みであった生徒による司会進行も大変素晴らしく、参加された皆さんからお褒めの言葉をいただきました。これからも、子どもたちに任せる機会を増やし、子どもたちが輝ける学校づくりに励んでいきたいと思っております。



第77回卒業証書授与式より

送辞

在校生代表 米村希

今朝、桜の木の枝につぼみの膨らみを見つけました。まるで、新たな未来への希望を胸にその時を待つ先輩たちのごようでした。本日、この三川内中学校を卒業される先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心からお慶び申し上げます。二年前の入学式、急に環境が変わった私たちは、様々な不安や心配を抱えていました。だから、先輩方が明るく声をかけてくださったときは、本当に嬉しかったのです。一年ぶりに会ったその姿は、とても強く、かっこよく、それでいて、前と変わらず明るくフレンドリー。今でも、困った時にはいつでも頼ってしまいます。そんな先輩方のいいところ、誇りに思う所を紹介します。一つ目は、【団結力】。それは、体育大会でのこと。勝利に向かって、また、体育大会の成功に向かって、全員が一丸となれるように努力してくださいました。きれいな隊形になっているか確認したり、本番と同じような流れで何回も通してみたり。熱意あふれる先輩方を中心に、学校が一つになれた瞬間でした。次に、【思いやり】。これは、合唱コンクールでのこと。先輩方が選んだ自由曲「友よ～この先もずっと…」は、仲間を思いやる先輩方にぴったりな曲です。だからこそ、先輩方にしか出せない素敵なハーモニーに感動しました。思いやりは、団結力を高めるエッセンスなのだと感じました。

そして、【エネルギー】。まさに、目標に向かってまっしぐら。必死に練習に励む部活動での姿です。チームで一つになり貪欲に勝ちにこだわる中、自分だけでなく、下級生も巻き込む熱心な指導は、良いお手本でした。駅伝の時も、やる気溢れる行動で、みんなの士気を高めてくださいました。更に、【発想力】。全校生徒を引っ張る生徒会の斬新なアイデアの数々。伝統のあるワンストップあいさつ運動や、生徒の思いを知る目安箱、感謝を伝え合うありがとうプロジェクト。それらは全て、豊かな発想力がある先輩方からしか生まれえない取組で、とても楽しいものでした。私たちも、知恵とひらめきを大事にして、

学校全体のステップアップを目指します。そんな先輩方に頼ってばかりの私たちは、今、不安や心配、さみしい気持ちでいっぱいです。同時に先輩方への【感謝】の思いが溢れてきます。しかし、悲しんでばかりはいられません。引き継いだ伝統を大切に守りながら、みんなで三川内中学校をよりよくしていくことをお約束します。安心して人生の新たなステージへと羽ばたいてください。今後の卒業生の皆様のご活躍を、心から願って、送辞とさせていただきます。

答辞

卒業生代表 笹口太雅

桜のつぼみが色づき、春の訪れを感じる季節となりました。本日は私達のためにこのような心のこもった卒業式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。私達三十二名は巣立ちの時を迎えました。この学び舎で仲間とともに過ごしてきた思い出が、今、鮮明に蘇ります。暖かい春風が、私達の背中を押した三年前の春。歓迎の拍手に迎えられ、この三川内中学校に入学しました。真新しい制服に身を包み、緊張と不安だった私達を温かく迎えてくださった先輩方の大人びた姿は、いつしか私たちの目標になりました。仲間とともに練習を重ねた部活動。何度もくじけそうになった日々。切磋琢磨し、ともに頑張った仲間。ご指導くださった先生方やコーチ、応援してくださったたくさんの方々。三年間悔いなくできたのは、たくさん支えがあったからです。毎日、全力で走った駅伝練習。グラウンドいっぱいに響く先生方の声。その声に励まされ、暑い日も雨の日もひたすら走り続けました。本番での全校応援の歓声に、どれほど励まされ勇気ももらったのでしょうか。心を1つにした最後の体育大会。個性あふれる団旗。上手いかず悩むことが多かった学年競技。仲間と支え合い練習を重ねた長縄。そして、絆を深めた応援合戦や組体操、ダンス。勝ち負けを超え、笑顔で終えることができました。伝統ある窯焼成。地域の専門家の方々のご指導があったからこそできた作品の数々。暑いなか仲間とともにまきをくべたあのとき。世界でたった一つの作品を手にした感動は、今でも忘れられません。コスモス散歩での活動は楽しく、心に深く残っています。歴史と文化を学び、平和を考え、日本の高い技術力を目の当たりにした修学旅行。目に映るものが全て新鮮でした。困ったとき、たくさん支えてくれた仲間がいました。寝食を共にした三日間は、一生忘れられない宝物です。練習に練習を重ねた音楽発表会。演出を加え、学年らしさを出す楽しさ。練習が上手いかず、話し合いで思いのたけをぶつけたこともありました。絆を深めていったことが、アルカスでの発表につながりました。「不登校の背伸びジャンプ」。深い愛情と私たちへの期待を感じた言葉です。校長先生、雨の日も風の日も、毎日校門で私達を笑顔で迎えてくださいました。部活動の練習や試合にもたくさん来てくださいましたね。受験のためにたくさん面接練習をしてくださいました。また、試験当日には会場まで足を運んでくださいました。それが、どんなに私達を勇気づけてくれたことでしょう。この三年間粘り強くご指導してくださった先生方。私達が悩んでいるときには、真剣に相談にのり、わかるまで粘り強くご指導していただきました。部活動では、礼儀やマナーだけではなく、人としてどうあるべきかを教えてくださいました。受験が不安で、心折れそうになったときの励ましの言葉は忘れられません。今まで私達を大きな心で導いてくださり、ありがとうございました。

そして、何よりも私たちの成長を喜んでくれた家族。家族は私たちの心の支えでした。習い事や部活動の応援、人生の先輩としての言葉の数々。私を生んでくれてありがとう。支えてくれてありがとう。感謝の気持ちでいっぱいです。共に学び、一緒に過ごしてきた仲間。他愛もない話で盛り上がった休み時間。時にぶつかり、悲しみ、笑い合いました。受験が近づいてからは、休み時間も机に向かい、教え合いました。いつも隣にいたことが当たり前だったことも、一緒にときを過ごすことも、もう二度とないのだと思うと寂しさで胸がいっぱいです。在校生の皆さん。あなた達から「先輩」と呼ばれることが気恥ずかしく、同時に誇らしかった日々。この学び舎であなた達と一緒に過ごせてよかったと心から思います。これからは、みなさんが三川内中学校を引っ張っていく番です。伝統と文化を受け継ぎ、より良い学校生活を築き上げていって下さい。最後になりましたが、お忙しいなか、私たちのために出席くださいました来賓の皆様、これまで多くのご指導をいただいた校長先生をはじめ諸先生方、心より感謝いたします。名残は尽きませんが、私達はそれぞれの目標に向かって、力強く一歩を踏み出そうとしています。三川内中学校のさらなる発展をお祈りし、答辞といたします。

